

ARCO-152 20260602

明治神宮御苑 花菖蒲

ウォーキング 2026

本年3月に代々木公園にて桜観ウォーキングを実施している。その北東側が明治神宮。幾度も年頭に詣でさせて頂いているが、花菖蒲園には入苑させて頂いていなかった。菖蒲の他に御苑の景観も楽しみたい。菖蒲の開花は通常6月初なのだが、今年は1週ほど早まっているだろうと。しかし今年も例年と変わらず5月末でまだ咲き始めているとの知らせが。定例ウォーキング日である第4週(火)26日を1週遅らせ6月2日(火)に実施することに。そこに台風6号の発生予報が。……………



御苑は

明治神宮御苑は、明治天皇が皇后のためにとお作りになられたのだと。

江戸期に加藤清正家の領地から井伊家の領地となり、明治期には荒地であったらしい。御苑内の南池は、御社殿の南側にあることから名付けられ、夏には睡蓮が咲く。その水源である「清正井」は清正が掘ったとされ、表参道の

神橋(しんきょう)への流れの元で、今も清らかな水を毎分60リットル程湧出し、渋谷川の水源の一つでもある。

御苑は現状鬱蒼とした森林のようになっているけれども、明治神宮創設当初に針葉樹林として植林され、最終形として照葉樹の自然林に至るようにと100年の計にて樹木を日本全国から集めて植えられ、現在は計画通りの雰囲気。

なお代々木の地名は江戸期の頃から樹高50m超えの樅ノ木が在ったゆえと。

アクセス

JR 中央線荻窪駅から新宿駅へ。同駅にはなんと14番線迄。14番線から同じホームの13番線に。山手線で2駅先の原宿へ。3月に訪れた代々木公園の桜観と同じルート。WINGS5名は原宿駅表参道側改札出口前に9時45分集合出発。改札から表参道へ。明治神宮第一鳥居をくぐり北方向に。参道両側は照葉樹林が覆い、静けさを醸し出している。小砂利敷の表参道を300m程。神橋を超える。左手に御苑の案内が。入場には維持協力金500円。



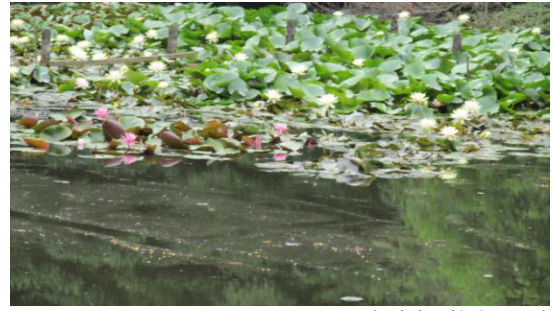
明治神宮第1鳥居前



表参道



神橋(しんきょう)・南地(なんち)からの溪谷に



南池(お釣台から)



御苑東入口



南池へ

南池(なんち)

加藤清正の井から流れ出し、菖蒲田を経て池となっている。池には睡蓮が浮き、可憐な白い花を咲かせている。なお、神宮の北側代々木寄りに北池があります。神宮拝殿の北側には、拝殿までの面積と同じ程の森が在ります。



南池

お釣台

南池のほとりに張り出して作られた木製の平台。釣り糸を垂らされ微妙に揺れる浮きを観ながら、時を過ごしになられたのでしょうか。



お釣台で集合写真

隔雲亭(御休憩)

お釣台の北側の丘に皇后の来園時の休憩所として作られた休憩所・茶室。華美過大で無く侘び寂びを感じさせる建屋となっている。残念ながら室内迄には入らせて頂けない。躑躅が添景に。



隔雲亭(南地側から)

菖蒲田へ

清正の井を水源とした谷合いの水田が、菖蒲の咲く風景へと変わっている。

都内の菖蒲田では、菖蒲が整然と並んでいる風景が多いのだけれど此処の菖蒲は自然な感じに纏められていて、好ましく感じる。菖蒲は丁度満開に。150種、1500株が和らしく咲く景觀は、詫び・寂びをも味あわせてくれた。1週遅らせてのウォーキング実施のお陰で万開の菖蒲を楽しませて頂いた。



菖蒲と躑躅



菖蒲



四阿で一休み



対岸側から

清正井へ

加藤清正が掘ったとの湧き水。今でも毎分60リットルの湧水量が絶えないらしい。この井戸を水源に菖蒲田を経て南池へと巡っている。この井戸は既に神宮の拝殿西南近くに位置している。



毎分60リットルをしみだしている



清正井独占



清正井からの帰り道…こんなに沢山の人人人

御苑東門へ退出

辿ってきたルートは、菖蒲田の南側。表参道に戻るのに、菖蒲田の北側を。参道を原宿駅側へと退散させて頂いた。



菖蒲田とお別れ



表参道への帰り道

ランチへ

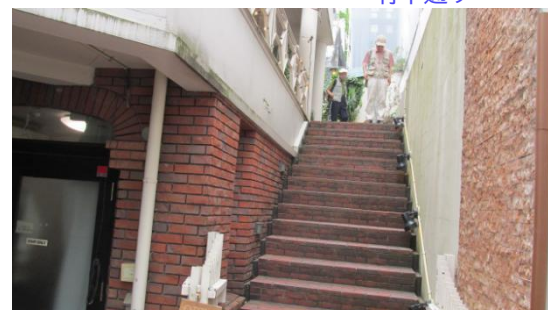
代々木公園桜見ウォーキング時には、予約をしていなかったために歓迎

されなかった **BLOU GARDEN**。原宿駅前の坂を下り竹下通りへ、100m先を右折。50m 先を左折し、更に150 m。

ブルームス通り奥端のビルの外階段を2階へ。サラダバーと自由なドリンクバー。各自の好みでスパゲティーかハンバーグを選択可。5名全員がスパゲティーを。小一時間ランチタイムを充分に楽しんだ。



竹下通り



BLOU GARDENへの外階段



サラダバー



センターテーブルで



スパゲッティー1600円



原宿駅竹下口に戻って解散

エピローグ

華麗に咲いている菖蒲が観たいと計画したウォーキング。満開近くとなっていて、自然な感じの開花状況を魅せて頂いた。睡蓮と共に慎ましく咲く姿は華美ではないものの和の風景を思い出させてくれた。明治天皇が神宮として祀られ、慕われておられることの一端を感じさせて頂いた。100年の計で考えられた森の中を逍遥しながら、西洋のそれとは異なる和のテーストの庭園を享受しながら、変わりゆく東京の中心で、緑のオアシスとして何時迄も有り続けて欲しいと祈念させて頂ながらのウォーキングは4500歩程に。

明治天皇は、台風6号が近づくことを許さないでくれたかに感じたのだった。

さて今月6月末は、冷房の効いた杉並区集会施設での集会とし、7月度の東京都新美術館、9月度の葛西水族館でのウォーキングを計画検討・案内書確定予定としています。8月は熱中症予防を心掛けて夏休みとしています。

20260602
suginami WINGS
記JUSTing